

○議長（茅沼隆文）

続いて、日程第2 認定第3号 決算認定について（下水道事業特別会計）の質疑を行います。

質疑は歳入歳出全般にわたって行います。質疑をされる方はその際にはページを明示してください。では、質疑をどうぞ。

1番、佐々木議員。

○1番（佐々木 昇）

1番、佐々木昇。

それではちょっと確認させてください。決算書116、217ページ、説明書、78、79ページの款総務費、目2の施設管理費の中で、管路調査業務委託料というものがありますけれども、81カ所ということで、管路調査していますけれども、この辺、管路の距離とその結果をお伺いしたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝巳）

管路調査につきましては、延長という形では、ちょっとこちら明示してませんで、マンホールの中をのぞくという形で、下水道のマンホール管を目視した形で管の状態を調べるということで、その中でマンホールの開けた箇所というのが、80何カ所ということで、その中で今回、管路自体については、異常は見つけれませんでした。マンホールを開けた中で、マンホールのふた等でさびが発生している。また、高さを調整するリング、現場打ちで昔つくったところが大分悪くなっているということで、そちらの補修等を平成28年度は実施しました。

○議長（茅沼隆文）

佐々木議員。

○1番（佐々木 昇）

これ調査をした中で異常があれば、そこで対応されているというようなことでいいのか、ちょっと確認させてください。

○議長（茅沼隆文）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝巳）

調査の結果に基づいて、漏水等、地下水が侵入したということが発見できれば、そちらについては、どういう工法でやればいいのかということの中で、すぐできるところでは、その年に工事を行うという形で対応しています。また、先程言いましたマンホールのふたのリングのところの補修というところでは、当年度、平成28年度に発見したものは、平成28年度に工事を行っております。

ただ、管、もしくはマンホールの中での地下水への侵入等があった場合、工事が大分かかるということであれば、翌年度にその分の金額を予算要求して、補修をするという考えでいます。

○議長（茅沼隆文）

佐々木議員。

○1番（佐々木 昇）

分かりました。それと同時に管路、距離50メートル、これの清掃ということでやられていますけれども、この辺の50メートル、これはどう見つけられたのかとか、前年度、管路調査して見つけられたものなのか。この辺、どのようなものなのか、お伺いします。

○議長（茅沼隆文）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝巳）

管路の清掃につきましては、管の中に、脂分というものが大分たまっている箇所というのが、まず1点ありました。そちらとあと1カ所は、最上流の部分で、土がどうしても中に入って、管路の中をちょっとふさいでいたというところで管路清掃を当年度、平成28年度調査の結果をもとに、清掃を実施しております。

○議長（茅沼隆文）

山田議員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。

決算書218、219ページ、事業費ですね。町単独事業工事費ということで、これは毎年、毎年工事を行って、下水道の延長を図っていると思います。そのような中で、つくっただけではこれはいけないと思うので、完了後の接続率というのですか、そこら辺の報告をお願いしたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝巳）

公共下水道への接続につきましては、平成28年度施工した箇所につきましては、平成29年度現在で、2件接続という形で一般家庭の接続を実施しております。

○議長（茅沼隆文）

山田議員。

○2番（山田貴弘）

率、できれば、平成28年度工事も含めて、それによって全体どのぐらいになったかというのも教えていただきたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝巳）

接続率という形では出していないのですが、水洗化率という形では、96.9%、これは世帯です。ですから、水洗化というのは、接続率と同じような形で、工事をやった中で、下水道につないだ率という形の中で、水洗化率という形で、こ

ういうふうにしております。

すみません。水洗化率の96.9%の根拠ですけれども、こちらにつきましては、整備をしました整備区域の世帯が4,881世帯ありまして、そのうちの接続された方が4,845世帯という中で、96.9%の率を出しております。

すみません。接続された方の数字間違えました。4,731です。申しわけありません。4,731世帯です。

今の件数で接続された世帯に対しての整備された区域での世帯と接続された方の世帯の接続率になります。

○議長（茅沼隆文）

山田議員、良いですか。もう一度明確にお聞き直してください。

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝巳）

まず、下水道を整備した処理区域の世帯というのが、4,881世帯、その中で接続された世帯が4,731世帯。

○議長（茅沼隆文）

それでは、ここで暫時休憩といたします。再開を10時15分といたします。

午前10時00分

○議長（茅沼隆文）

それでは、再開いたします。

午前10時15分

○議長（茅沼隆文）

先程の質問に対する答弁をそのまま継続をしていただきますので、お願いします。

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝巳）

先程の山田議員の接続率ということで、すみません。私の答弁が不足していました、そちらを補足させていただきます。一部、データの修正もお願いいたします。

まず、平成28年度末の整備面積が246.8ヘクタール、こちらの整備をされた中での世帯数246.7、そちらの整備された中での世帯数が、4,887世帯ですね。そのうちの接続をされた世帯が4,738世帯、その中で接続率として97.0%が接続率でございます。

○議長（茅沼隆文）

山田議員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。ただいま課長答弁がありました。数字をもとに、再度お聞きしたいと思います。この世帯数4,887世帯、下水道の接続されているのが、4,738世帯ということで、97%という報告がありました。なので、これは平成28年度、先程2件接続したという答弁があったのですが、それを含めた中での数字なのか。それを再度お聞きしたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝巳）

平成28年度は工事をやった箇所でも今現在2件の接続があると先程申しましたけれども、こちらにつきましては、平成29年度中に接続をされたお宅なので、この中には含まれておりません。

○議長（茅沼隆文）

山田議員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。

97%接続されているということで、97%の接続があるということは、大変喜ばしいと思うところの反面、前年度、白鷗病院の件で言いましたけれども、その件に対して、平成28年度中の部分で解決したのか、接続がされているのか、再度、お聞きします。

○議長（茅沼隆文）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝巳）

白鷗病院につきましては、まず結論で言うと、今現在まだ接続をされていません。私たちが、下水道工事が終わった後に、すぐ接続をするというお約束だったので、そちらで申請を待っていたら出なかったものですから、何回か、白鷗病院にお尋ねした中で、なぜ接続ができないかという理由を確認させていただいております。

その中で1点は、白鷗病院の今現在の、病院に来られる方が透析をされる方が結構メインでいらっしゃる。そちらの透析をする方の治療する等に対して、浄化槽が近くて、そちらの出入り口の確保が難しいのがまず1点と。

それと当初、白鷗病院で予測をしていた工事費よりも大掛かりな工事になってしまって、予算的に工面がとれなかったというのが白鷗病院側の御理由です。その中で下水道課として面接して、何回か話した中で、大掛かりになった工事費というのが、浄化槽を全て撤去すると。そのために金額が大きくなったというようなお話があったものですから、まず、接続を優先してほしいと。その中で浄化槽の撤去というのは、すぐ行わなくても、ただ、管の切り増しを先にやって、とにかく下水道を接続してから、浄化槽の撤去をお金のかかる部分では後にやってもらえないかということで、その辺のアドバイスはしまして、業者とその辺は相談をしてみるという中で御回答いただいております。

そのうちまだ回答はないものですから、来年度予算に向けての折衝を今後もまた続けて、早めに接続をしていただきたいということでこちらも白鷗病院にお願いを再度していきたいと思っております。

○議長（茅沼隆文）

ほかに質疑ございますか。よろしいですか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

質疑がないようですので、認定第3号 決算認定について（下水道事業特別会計）の質疑を終了いたします。